ビジネスプロセス サービスの 大手プロバイダー

Voltage がデータ中心のセキュリティを提供して、機密データを露出することなく不正の検出と防止を効率化します。



規制を遵守しながらデータに 不正分析を適用

不正行為があらゆるチャネルで急速に拡散している現代の世界では、詐欺師がサイ可化したバンキングシステムを悪用する不正対策プラットフォームにより、銀行間で分がなりされるデータに適用される高度な分析の強みを利用し、専用の製品、不正インテリジェンス、データサイエンスリソースを活用することで、結束して不正に対抗しています。

これを実現するにあたってチームはいくつかの課題に直面しました。シニアプログラムマネージングアーキテクトは次のように説明しています。「SOX や PCI などの厳格なデータ保護ルールを遵守する必要があると

シニアプログラムマネージングアーキテクト 業界をリードするビジネスプロセス企業 同時に、データサイエンティストが個人識別情報 (PII) やクレジットカード情報などのデータを扱えるようにする必要もありました。本番データでのテストをどのように行うかという問題もありました。ディスク暗号化は規制に準拠するための基本要件ですが、それでは分析を適用するとデータを露出してしまうという問題を解決できません。データマスキングも選択肢となりましたが、これはもとに戻せない変換で、マスキングではインサイトを複製できません」

既存のインフラストラクチャも検討にあたっての重要な考慮事項でした。担当チームは、隔離されたシステムのサポートを望みませんでした。新しいソリューションは、既存の環境とシームレスに統合でき、完全に仮想化された環境で構成され、HadoopやHortonworksを活用して、会員の銀行からシステムに流入する大量のデータを処理できることが必要でした。

Voltage のデータ中心セキュリティ モデル — データは暗号化されたまま

シニアプログラムマネージングアーキテクトは、データセキュリティの最新トレンドについて市場を徹底的に調査しました。「データマスキングの専用ツールでは、準拠する必要がある規制に対応できませんでした。しかし、Voltage について知ったときには、すぐに興味が湧きました。Voltage のフォーマット保持型暗号(FPE)を使用すると、プロセス全体を通じてデータをエンドツーエンドで暗号化されたままにすることができます。これで、データのセキュリティが大幅に向上します」

概要

業種

ソフトウェアおよびテクノロジー

所在地

カナダ

課題

データ中心型のセキュリティモデルを導入する ことにより、分析やテストの目的で機密データ へのアクセスを拡大すること

製品とサービス

Voltage SecureData Enterprise

成功ポイント

- ・ 完成度の高いデータ保護プラクティス
- ・機密データを露出することなく、不正の 検出と防止に関するインサイトを提供する 高度でセキュアな分析
- ・ セキュアなデータテスト環境
- ・ 障害復旧の改善と高可用性
- OpenText プロフェッショナルサービスとの 実りあるパートナーシップ

「Voltage は、当社のデータセキュリティのすべてのユースケースについて、ワンストップで提供してくれます。現行のあらゆるデータプライバシー規制に準拠しており、当社の環境に見事に統合できて、データ保護アプローチとプロセスの完成度を高めることができました」

シニアプログラムマネージングアーキテクト 業界をリードするビジネスプロセス企業

お問い合わせ www.opentext.com





Voltage by OpenText はデータ自体に保護機能を組み込み、データ中心のセキュリティモデルにより、分析にもビジネスプロセスにも使用できる状態にデータを維持します。アプリケーションやデータベースを壊すことなく保護された形式でデータが流れるので、システムアナリストや QA エンジニアは、安全な環境で自分の仕事ができます。 さらに Voltage は、すでに組織内で使用されているものを含め、主要なビッグデータプラットフォームのすべてとシームレスに統合できるように設計されています。

OpenText™のプロフェッショナルサービスが 実装を支援しました。「当社の環境とユース ケースに合わせたサポートと実践的な Voltage のトレーニングが必要でした」と、シニアプログラムマネージングアーキテクトは述べています。「Micro Focus (現在は OpenText の傘下)プロフェッショナルサービスのコンサルタントとの連携は、私の業界での経験の中でも最高のものでした。開始から完了まで支援、当社のユースケースが Voltage 環境内で機能し、全体のインフラストラクチャ内に統合されるところまで確認してくれました。わずり3か月で稼働を開始できましたが、この完成度の高さがわかると思います」

Voltage は現在 Hadoop と Hortonworks を基盤に運用されており、成熟したデータ保護が保証されています。暗号化されることなく保存されるデータはなく、すべてのデータはローカルの Hadoop インスタンスに分散して格納されます。プロダクトマネージャーは、ユーザーフレンドリなツールにログオンしてデータアクティビティを確認できますが、PII やクレジットカード情報な

さらにこのように付け加えています。「Voltage FPE を使用すると、暗号化されたデータの照合や検索ができます。アクセス制御、監視、認証、権限設定の既存環境との統合が高い完成度で実施でき、コンプライアンス対応、監査、権限管理が簡単になりました」

Voltage によって実現されたセキュアなデータテスト環境では、直接識別子や二次識別子が排除されているので、品質保証チームがデータを直接処理できます。Voltage のモットーは「暗号化は1度だけ、復号は必要なときだけ」ですが、シニアプログラムマネージングアーキテクトが説明するように、これが完全に機能しています。「私たちはまったく復号化しないことを目指しています。Voltageでは、必要に応じて1つのフィールドや行など最小限の要素を復号化できます。しかもディスクレベルや処理中ではなく、メモリ上のみで復号化されます」

透過的なセキュリティモデルによる TCO の管理

データセキュリティの重要性は、同社の成功の中核をなしています。Voltage は、ステートレスキー管理によって、2つのデータセンター間の負荷分散をサポートしており、信頼性の高い障害復旧と高いシステム可用性を提供します。従来のような鍵とその保管庫を管理する方式では、十分なデータ保護が得られません。

シニアプログラムマネージングアーキテクトは次のようにコメントしています。「Voltage は、当社のデータセキュリティのすべてのユースケースについて、ワンストップで提供してくれます。現行のあらゆるデータプライバシー規制に準拠しており、当社の環境に見事に統合できて、データ保護アプローチとプロセスの完成度を高めることができました。1つのフレームワークだけで、完全に透過的なセキュリティモデルで総所有コスト(TCO)を制御できます」

同氏は最後にこうまとめています。「Micro Focus (現在は OpenText の傘下)、特にプロフェッショナルサービスチームとの共同作業 は、素晴らしい経験になりました。Voltage を活用することで、関連するすべてのセキュリティとガバナンスのポリシーを満たすことができるようになりました。これは、金融サービス業界での当社の成功に不可欠なものです」

opentext[™] | Cybersecurity

OpenText Cybersecurity は、あらゆる規模の企業とパートナー様を対象に、包括的なセキュリティソリューションを提供しています。予防から検出、復旧対応、調査、コンプライアンスまで、エンドツーエンドの統合ブラットフォームにより、包括的なセキュリティポートフォリオを通じてサイバーレジリエンスの構築をサポートします。コンテキストに基づくリアルタイムの脅威インテリジェンスから得られた実用的なインサイトを活用できるため、OpenText Cybersecurity のお客様は、優れた製品、コンプライアンスが確保されたエクスペリエンス、簡素化されたセキュリティというメリットによって、ビジネスリスクを管理できます。